

みの～れってやっぱりすごい！

宇津野さんにおやこ・マタニティコンサート実行委員になったきつかけを聞いてみました。「芸術展プロジェクトメンバーに知り合いの方が先に入っていて、声をかけてもらいました。たまたま、おやこ・マタニティ実行委員の会議がある日に、私は別の用事でみのくれに来ていたら、おやこ・マタニティ実行委員の知り合いの方から連絡があつて、『用事が済んだら来て！』と声がかかり、その日に会議に参加して実行委員のメンバーになりました（笑）。私と同じような年代の人がいるので楽しいです。私が妊婦の時に、マタニティコンサートがあることを知っていたら参加したかったなと思いましたが」と笑顔で話してくれました。

今年、中学1年生になるのでやってくれるかな？と思つています。下の子は小学2年生の女の子なので、まだまだ付き合つてくれると思います」と楽しそうに話してくれました。また、宇津野さんは、「みのくれってこんなにいろいろあるイベントをやってくれてるのを知らなかつたので驚きました。知つてから友達にも『こんなのやつているんだよ！』つて言えますよね。そうすると小美玉つてすごいね！つて市外の友達から言われるんですよ」と話してくれました。

また、「おやこ・マタニティコンサート実行委員会は5月31日に、おやこロウわくわくコンサートを企画しています。出演は、中川賢一さん（ピアノ）、鶴木絵里さん（ソプラノ）。ジブリやディズニーの名曲や手遊びコーナリ、みんなで歌おう！パプリカなどを用意して、0才の赤ちゃんからコンサートに気軽に来ていただけます。このコンサートは、寝転がっても、お菓子を食べてもいいんですよ！まるでお家が

今年は桜の開花が早く美しい花を愛でることができました。桜が咲き始めた頃に思わぬ雪が降り、また違った景色を見ることができました。百花繚乱の美しい季節は私たちを癒してくれる時季でもありますね。新型コロナウイルスの影響でイベントが中止や延期になり、学校もお休みになつて今までの生活が少しずつ変わつてしまいましたが、このトンネルを抜けたら、普段通りの生活が戻ってきますよね。そう願っています。今回はおやこ・マタニティコンサート実行委員と芸術展プロジェクトメンバーで小美玉市羽鳥地区にお住いの宇津野絵美さん取材します。



おやこ・マタニティコンサート実行委員
「見つける・みがく・光りを当てる」芸術展メンバー
～小美玉に光を集めよう～

う つ の え み
宇津野 絵美 さん

「自分と同じ世代の人がいるので楽しいです」
と笑顔で話す宇津野さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.154